

発行日：2009年8月1日

発行者：船場地区HOPEゾーン協議会

編集長：藤原久恵(協議会理事)

大阪市HOPEゾーン事業

まちなみ修景補助制度について

船場のまちなみづくりをサポート

「大阪市まちなみ修景補助制度」がスタートします!

総会の際にもご紹介させていただきましたが、「船場のまちなみ作法」で提案する船場ならではの「花なりしたまちなみづくり」に向けた具体的なサポート策として、大阪市の「まちなみ修景補助制度」がいよいよスタートします!

この制度は、みなさんが、船場のまちなみづくりにとって必要な

- ① 近代建築等の再生・活用に関する修景※整備や、
- ② 通・筋、エリアの個性を活かしたオープンスペースや建物の修景※整備

に取り組まれる際に、一定の要件を満たせば、その工事費の一部を市が補助するというものです。

※「修景(しゅうけい)」とは、船場にふさわしいまちなみ形成に向け、建物の外観等を整備することをいいます。

制度の概要は次のとおりです。

制度概要

補助対象

- ① 船場地区HOPEゾーン事業対象エリア内の
 - 近代建築(明治～昭和19年までに建てられた建物)
 - 重要文化財・登録文化財の建物
 - 船場のまちなみ形成上重要なものとして地域(船場地区HOPEゾーン協議会)が推薦する建物
- ② 通や筋、エリアごとのまちなみガイドラインが定められている場所の
 - オープンスペース(船場建築線による後退部分など、建物前の空地)や建物

補助の限度額等

補助金の額は、修景整備に必要となる「設計費+工事費」の3分の2以内の額、かつ、
①の場合800万円以下、②の場合200万円以下(いずれも1敷地あたり)

その他

補助の適用に当たっては、建物外観全体のフォルムの維持・保全や外観イメージを損なうような要素の改善・撤去等の基本的な要件が定められているほか、まちなみガイドライン・「船場のまちなみ作法」に沿った修景であること(例えば、その内容が協議会・部会で一定了解されている等)が求められます。

▶まちなみ修景補助制度についての問合せ | 大阪市都市整備局 まちづくり事業企画担当 TEL06-6208-9222

制度実施にあたって

「市の予算は年度ごとに限りがあるから、補助は早いもの勝ち?」

「それは良くない。個々の事情はあるかもしれないけれど、船場のまちなみにとって、より効果があるもの、インパクトがあるもの、必要性が高いものから順にやっていくようにしないと。」

今回の市の補助制度実施について、建物オーナーをはじめ、様々な方々にご意見を伺っていく中で、しばしばこのような声をお聞きしました。協議会としても同じ想いで、この制度が不公平感なく、より効果的に活用されるよう、「制度の積極的なPR」はもちろん、その年度の修景補助対象物件の調整(修景内容や順番など)のために、「建物等の所有者のみなさんとの情報交換会の実施」、「協議・推薦等システムの活用」などを進めていきたいと考えておりますので、ご理解・ご協力をよろしく申し上げます。

こうした考え方に沿って、制度開始となる今年度は、モデル整備年とし、「船場での修景整備のお手本づくり」に取り組むこととし、近代建築等のオーナーのみなさんにお声がけし、意見交換を行うなどしながら、モデル的な修景整備に向けた補助対象建物を選定しました。趣旨に賛同いただき、ご協力いただけることとなったのは、「生駒ビルディング(平野町2-2-12)」さんと「芝川ビル(伏見町3-3-3)」さん。船場のまちなみの中でもひときわ目をひく2つのビルがどう変わるのか…完成をお楽しみに!

また、「通」のガイドラインを作成中の「道修町エリア」でも、モデル整備実施に向け、現在調整中です。なお、来年度以降の本格的な補助制度実施に向け、「ちょっと興味がある」、「話が聞きたい」という方は、お近くの役員まで、いつでもお気軽にご相談ください。

協議会活動報告

船場地区HOPEゾーン協議会 第2回総会

平成21年5月20日(水)
大阪市中央公会堂にて開催

新型インフルエンザの影響が心配される中での開催となりましたが、約50名もの出席をいただき、改めて「船場」を想う人々の「力」を感じました。会議では、平成20年度の活動報告とともに、「船場のまちなみ作法」【基本編、建物編】、平成21年度活動予定等が承認され、今年度の協議会活動スタートの準備が整いました。貴重な時間を割いてご出席いただいたみなさん、ありがとうございました。今年度もいろいろな活動を展開していきますので、ご理解・ご協力、よろしくをお願いします!



参加者の声

船場・道修町の今と昔の写真が展示されていて良かった。初参加なのでこれからの楽しみ。ホームページも楽しみにしています。



「花なり」とした北船場ならではの文化的な催しを期待しています。

まちなみガイドラインの発行

第2回総会で承認された、船場地区のまちなみガイドライン、「船場のまちなみ作法」【基本編】と【建物編】の冊子ができました。これらの冊子を収納する特製フォルダ(ステッカー付き)とあわせて、下記で配布します。数に限りがありますので、ご希望の方はお早めに!

配布場所

少彦名神社事務所 中央区道修町2-1-8

大阪市都市整備局
まちづくり事業企画担当
北区中之島1-3-20 大阪役所6階

そのほか、お近くの協議会役員にもお問合せください。

ええもん発見!!

3

淡路町四丁目 御霊神社 淡路町4-4-3

ごりょうじんじや



地下鉄淀屋橋駅から徒歩から200mほど南西のビルの立ち並ぶ中に、御霊神社があります。文禄3年(1594年)に圓江(つばらえ)(現在の靱公園)から今の場所に移り、商業金融の中心地の鎮守様として、商売繁盛を願う人々の参拝が後をたちません。古くは人形浄瑠璃を上演する文楽座やアニメの原点といわれる錦影絵の常設小屋があり、大阪人の文化の中心地として非常に賑わっていたそうですが、現在、境内には、木々が植えられ、周りのオフィスに働く人々の憩いの場となっています。また、戦後アメリカ軍が飛行場を作るために、靱公園にある御霊神社旧跡(現在は楠永神社)の祠を壊そうとしたところ、白い蛇が現れ、工事が中止されたという逸話もあります。靈験あらたかなこの神社に、一度お参りしてみたいはいかがでしょうか。

ええもん発見!!

4

淡路町三丁目 吉野煮 淡路町3-4-14

よしのすし



天保12(1841)年創業の吉野煮は、オフィス街にありながら趣のある佇まいが印象的な老舗で、大阪が誇る郷土料理のひとつ、箱寿司がいただけます。箱寿司とは、二寸六分(約8.5cm)の木の押し型に、手間暇をかけて下ごしらえされた海老や小鯛、アナゴや厚焼き卵などとすし飯と一緒に押し型に詰めてつくる寿司のことで、時間が経っても味が変わらないよう工夫されています。見た目も美しく、江戸前寿司とは違った「まったりとした味」が特徴です。今では手間のかかる箱寿司を作れる店が減っており、大阪寿司の真髄を味わえる数少ないお店のひとつです。

▶問合せ|06-6231-7181

HOPEゾーン事業 [ほーぷぞーんじぎょう]

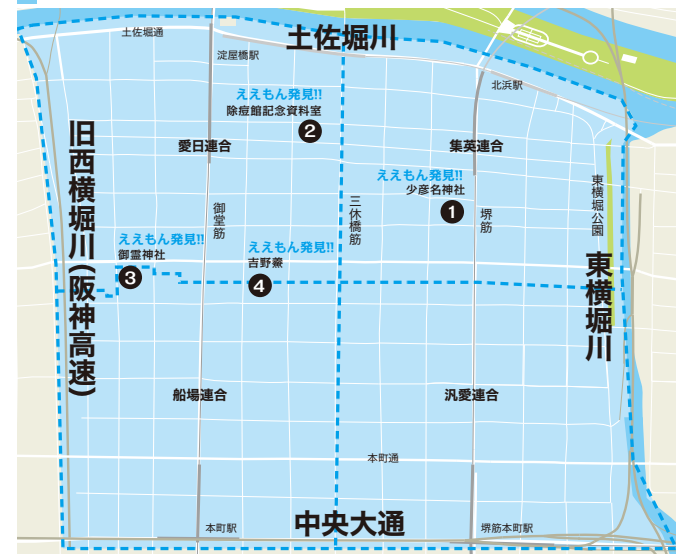
大阪の居住地イメージ・魅力を高める歴史的・文化的な雰囲気
に恵まれた地域において、地域で活躍する様々なメンバーから
成る「協議会」を中心に、地域と行政が連携・協働してまちなみ
づくりに関わる活動を展開しながら、地域特性を活かした建物
やオープンスペースの修景整備等、具体的なまちなみづくりに
取り組んでいく事業。

●HOPEゾーン事業について
お問い合わせ
大阪市都市整備局
まちづくり事業企画担当
Tel.06-6208-9222



船場地区HOPEゾーン事業対象エリア

[約126ha]



船場地区HOPEゾーン協議会

平成21年8月1日現在

役員一覧

会長	大橋 達夫	集英連合振興町会 会長
副会長	木下 修二	愛日連合振興町会 会長
	橋本 英男	船場連合振興町会 会長
事務局長	別所 俊顕	少彦名神社 宮司、道修町資料保存会理事
会計	村橋 紗知	伏見ビル、ギャラリーもず
理事	増山 達夫	堺筋アメニティ・ソサエティ事務局
	小西 哲夫	コニシ(株) 取締役
	澤田 充	北船場くらぶ事務局
	宿谷 良一	(株)ヤラカス館 専務取締役
	日比 哲夫	船場げんきの会 副代表世話人
	藤原 久恵	汎愛連合振興町会 総務部長
	守田 宣昭	三休橋筋商業協同組合
	吉岡 亨	大阪ガス(株) 近畿圏部長

会員募集中

「船場」ならではの魅力を活かしたまちなみづくりをめざして、一緒に活動しませんか?

船場地区HOPEゾーン協議会では、具体的なまちなみづくり活動を進めていく上で、参加・協力・支援いただける仲間を募集しています。船場のまちなみづくり・まちづくりに興味がある!という方、ぜひ、ご登録ください。

登録無料

※詳細につきましては、お近くの役員までお問合せください。